

# PRESS RELEASE

日本取引所グループ プレスリリース



株式会社日本取引所グループ  
〒103-8224 東京都中央区日本橋兜町2番1号  
Tel : 03-3666-1361 (代表)

JAPAN EXCHANGE GROUP, INC.  
2-1, Nihombashi-Kabuto-cho, Chuo-ku,  
Tokyo 103-8224, Japan  
Tel : +81-3-3666-1361

URL: <http://www.jpx.co.jp/>

2016年1月12日

各位

株式会社東京証券取引所

## 第4回企業価値向上表彰の表彰会社の決定について

このたび、「上場会社表彰選定委員会」（座長：一橋大学大学院・伊藤邦雄特任教授）の選定結果を受け、本年度の企業価値向上表彰の表彰会社を決定しましたので、お知らせします。

### 1. 企業価値向上表彰の表彰会社について

#### (1) 大賞について

会社名	証券コード	業種名	市場区分
ピジョン株式会社	7956	その他製品	市場第一部

#### (2) 優秀賞について

(証券コード順に記載)

会社名	証券コード	業種名	市場区分
日本ハム株式会社	2282	食料品	市場第一部
カシオ計算機株式会社	6952	電気機器	市場第一部

### 2. 表彰理由について

ピジョン株式会社、日本ハム株式会社及びカシオ計算機株式会社は、いずれも資本コストを上回る企業価値の創造を目指す「企業価値向上経営」を高いレベルで実践していると認められました。

その中でも、大賞を受賞したピジョン株式会社（以下「同社」といいます。）は、資本コストを上回る企業価値の創造額を表す独自の経営指標である「PVA (Pigeon Value Added : みなし税引後営業利益－資本コスト)」等を重要指標に位置付けて、その向上に組織一丸となって取り組み実際に高い成果を実現するなど、「企業価値向上経営」を特に高いレベルで実践していると認められました。

同社が特に優れていると評価されたポイントは以下のとおりです。

#### **1. 投資者視点を意識した高い経営目標を設定し公表している**

- 企業価値向上を目指して、資本生産性を表す経営指標（ROE、ROA、ROIC）に自社の資本コストを大きく上回る高い水準の目標値を設定し、中期経営計画（2015年1月期～2017年1月期）において公表（同社が保守的に想定する加重平均資本コスト：5%、ROE目標：21%、ROA目標：22%、ROIC目標：15%）。
- 過去3年間（2013年1月期～2015年1月期）のROEは、15.5%、19.7%、19.8%と高い水準を維持。

#### **2. 独自の経営指標を活用した経営管理の仕組みを構築している**

- 資本コストを上回る企業価値の創造額を表す独自指標である「PVA」を経営に活用。
- PVAを構成要素ごとに細分化して管理する「PVA ツリー」や運転資本の効率性を管理する「CCC（Cash Conversion Cycle） ツリー」を導入し、きめ細かな目標値の設定と実績管理を実施。
- 事業の採択・撤退の判断基準に PVA や NPV、IRR といった管理指標を用いて、資本コストや資本生産性を強く意識した経営判断を実践。

#### **3. 企業価値向上を目指す経営管理の仕組みが組織に深く浸透している**

- 事業部門ごとに PVA ツリーや CCC ツリーを作成して細分化した項目ごとに目標値を設定し、それらを達成するための具体的なタスクも明確化するなど、会社全体として企業価値の向上に取り組む経営体制を構築。
- 経営トップ自らが、こうした経営管理の仕組みや考え方を社内に積極的に語り掛け、管理職だけではなく一般社員を対象とする研修も複数回開催するなど、会社全体への意識の浸透に前向きに取り組む。

#### **4. 投資者との建設的な対話の実現に向けて積極的な情報発信を行っている**

- PVA ツリーや CCC ツリーの各項目に設定した目標値や実績値の情報を広く公開するなど、投資者との建設的な対話の実現に向けて積極的な情報発信を実施。

#### **【本件に関するお問い合わせ先】**

東京証券取引所 上場部内 上場会社表彰選定委員会事務局  
電話 050-3377-7012（直通）

### 【参考1】表彰会社選定の審議の視点について

表彰会社を選定するに当たって、上場会社表彰選定委員会が重視した点は以下のとおりです。

表彰会社選定に当たっての主な審議の観点
1. 経営計画及び経営戦略について －重視する経営目標に投資者視点を意識した企業価値向上の観点が含まれているか。
2. 財務戦略について －株主還元を含めた財務戦略に投資者視点が組み込まれているか。 －事業の投資判断等を行う際の判断基準に投資者視点が組み込まれているか。
3. 株主・投資者とのコミュニケーション態勢について －経営陣が株主や投資者に経営情報を公表することが望ましいという認識・意欲を持ち、実際に公表がなされているか。
4. 企業価値向上経営の推進について －投資者視点を意識した企業価値向上経営の必要性の認識や管理の枠組みについて、社内に対して浸透が図られているか。
5. 企業価値向上に向けた取組みとその成果について －上記1～4の取組みの結果として、実際に企業価値の増大が図られているか。

## 【参考2】企業価値向上表彰について

企業価値向上表彰は、資本コストをはじめとする投資者の視点を強く意識した経営を実践し、高い企業価値の向上を実現している上場会社を表彰する取組みです。

本表彰の選定は、3名の有識者等で構成される「上場会社表彰選定委員会」の審議を通じ、下表のプロセスで実施されました。本表彰の選定方法や選定経過については、東証ホームページや特設ウェブサイト (<http://ps.nikkei.co.jp/tseaward2015/>) でご紹介しておりますので、是非ともご参照ください。

実施時期	選定方法・選定プロセス
昨年6月 (実施済)	<b>●エクイティスプレッド (ROE-自己資本コスト) に基づくスクリーニング</b> ・全上場会社 (約3,500社) の中から、過去数年間の「エクイティ・スプレッド」の平均値または成長率が良好な上場会社400社を選定。
昨年7月 (実施済)	<b>●1次選抜</b> ・スクリーニングにより選定された400社に対して、資本コストの認識などの基本的な経営態勢を確認する簡易なアンケート調査を実施。 ・所定の算式により各社の資本コスト (WACC) や企業価値の創出額を算出し、資本コストを上回る企業価値の創出に優れた成果をあげている上場会社50社を選定。
昨年8月～ 9月 (実施済)	<b>●2次選抜</b> ・1次選抜により選定された50社に対して、企業価値の向上を実現するための経営の実践状況を確認する詳細なアンケート調査を実施。 ・アンケートの回答などをもとに、上場会社表彰選定委員会がファイナリストを選定。
昨年10月 (実施済)	<b>●ファイナリストの公表</b>
本日の 発表内容	<b>●表彰会社 (大賞、優秀賞) の決定</b> ・上場会社表彰選定委員会がファイナリストの経営陣に対してインタビューを実施。あわせて広く投資家から意見を募集。 ・インタビュー結果などをもとに、上場会社表彰選定委員会が表彰会社を決定。